

展覧会

県美プレミアムⅡ

7月2日(土)～11月6日(日)

小企画

美術の中のかたち 一手で見る造形
つなぐ×つむ×つかむ：無視覚流鑑賞の極意
特集 **時間をひらく** 一新収蔵品を中心に



やなぎみわ《案内嬢の部屋B1》1997年

当館の恒例企画「美術の中のかたち一手で見る造形展」。27回目となる今年は、全盲の文化人類学者、広瀬浩二郎氏(国立民族学博物館准教授)の声による導きで、当館の館蔵作品を視覚によらずに鑑賞します。特集「時間をひらく」展では、昨年度から今年度にかけて新たに当館のコレクションに加わった作品群を核に、作品の中のさまざまな時間を5つのキーワードに沿ってご紹介します。また、展示室6では「生と業のプロセス」をテーマに、コレクションの逸品を展示します。

関連イベント

■ 学芸員によるギャラリートーク

10月1日(土) [展示室6]

16:00～(約40分)

参加無料(要観覧券・定員なし)

■ ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

会期中の金・土・日曜日 13:00～(約45分)

エントランスに集合 参加無料(要観覧券・定員なし)

県美プレミアムⅢ

11月19日(土)～2017年3月19日(日)

小企画 **ハナヤ勘兵衛の時代デェ!!**



ハナヤ勘兵衛
《フォトモンタージュ(今日も美しい)》
1933年

芦屋を拠点に長く活躍した写真家ハナヤ勘兵衛(1903-1991)を振り返る今回の展覧会。1995(平成7)年に芦屋市立美術博物館で開催の回顧展以来となる本展では、戦前のヴァンテージ・プリントをはじめ様々な資料を展覧の予定です。

特集 彫刻大集合

主要な彫刻・立体約40点を展覧します。ロダンをはじめとする近代の人体彫刻、抽象性や構成に比重が置かれた20世紀前半の作品、そして素材や制作のアイデアが多様化した今日の立体まで、彫刻の展開・変遷を振り返ります。



植松達二《置一浮遊の場》1989年

「関西文化の日」関連イベント

■ 観覧無料

11月19日(土)・20日(日)は、「関西文化の日」として無料で観覧いただけます。

■ ミュージアム・ボランティアによるガイドツアー

11月19日(土)、20日(日)

いずれも13:00～(約45分)

■ 「ハナヤ勘兵衛の時代デェ!!」学芸員によるギャラリートーク

11月20日(日) 15:30～(約60分)

次回特別展

アドルフ・ヴェルブリ 二萬五千頁の王国
2017年1月11日(水)～2月26日(日)

アドルフ・ヴェルブリ(1864-1930)は、もともと有名なアウトサイダー・アート/アール・ブリュットの芸術家のひとりです。戦前のシュルレアリスムの画家たちをはじめ、多くの芸術家に影響を与え、世界的に高い評価を得ているヴェルブリの画業を回顧する日本初の大規模な個展です。



《聖アドルフ=王座=アルニカ》1917年
ベルン美術館アドルフ・ヴェルブリ展回顧

イベント

来館者 1000 万人達成記念対談

～夢に向かってチャレンジする人々へのメッセージ～

10月22日(土) 13:30～15:00

パネリスト：佐渡裕(兵庫県立芸術文化センター芸術監督)

会場：ミュージアムホール

入場料：無料(要整理券：10:00よりホワイエにて整理券配布)

平成14年4月に当館が開館して以降、来館者が今年度1000万人を突破したことを記念して、当館館長養豊と世界的音楽家佐渡裕氏との対談を実施します。

ミュージアムコンサート

■ 美術館の調べ

10月1日(土)

尹 紗梨 ピアノリサイタル

＜演奏曲目＞ショパン「ノクターンOp.48-1」/
リスト「バガニョニによる大練習曲 第3曲」
『ラ・カンパネラ』ほか

＜出演者のひと言＞ 聴いたことあるかも!というような曲から初めて出会う曲まで、世界各国の多種多様な音楽をお楽しみください。◎尹 紗梨(京都市立芸術大卒業。シュトゥットガルト音楽大大学院修士課程首席修了)アトリエにて 14:00～ 無料



尹 紗梨

■ 美術館の調べ

10月8日(土)

村山由佳 ヴァイオリンリサイタル

＜演奏曲目＞バッハ「無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番 ト短調」/
ブラームス「ヴァイオリンソナタ第1番 長調」/
「ラプソディー第1番 長調」

＜出演者のひと言＞ 私の好きな3大Bであるバッハ、ブラームス、バルトークの楽曲の中から、G(ニ)を主音としたプログラムを構成しました。ぜひ、お聴きください。

◎村山由佳(ヴァイオリン。東京藝術大4年在学中。第7回横浜国際音楽コンクール弦楽器部門第3位)
◎秋元孝介(ピアノ。東京藝術大卒業。同大学院在学中。ABC新人コンサート音楽賞など受賞)

アトリエにて 14:00～ 無料



村山由佳 秋元孝介

■ 美術館の調べ

10月15日(土)

オータムコンサート2016
Ayaka and Yuka PIANO DUO

＜演奏曲目＞ ジャブリエ「おどけた行列」/
ブーランク「4手の連弾ソナタ」/
ピアノソ「リベルタンゴ」ほか

＜出演者のひと言＞ 前半クラシック、後半はタンゴでお届けします。連弾ならではの音の厚みや二人の腕の交わりなど、秋のひとときを目で見て耳で聞いて楽しんでください。◎池田文香(ピアノ。関西学院大卒業。ニューヨーク・マネス音楽院ピアノパフォーマンス修士課程修了)◎須黒優佳(ピアノ。神戸女学院大音楽学部卒業。2年間モスクワにてユリア・ニキティナに師事)

エントランスホールにて 14:00～ 無料



須黒優佳 池田文香

■ 美術館の調べ

10月22日(土)

岡本暁子 ピアノリサイタル
～パッサカリアからバルトークまで～

＜演奏曲目＞ バッハ「平均律クラヴィア曲 岡本暁子集より2巻16番」/
バルトーク「ピアノソナタ」ほか
＜出演者のひと言＞ 神戸の皆様には再びお会いできるのを、とても楽しみにしております! ◎岡本暁子(ピアノ。桐朋学園音楽学部ピアノ科卒業。モーツァルトデラム音楽大大学院(演奏家課程)修了。パドヴァ国際コンクール第1位)エントランスホールにて 14:00～ 無料



■ 美術館の調べ

10月23日(日)

シューベルトを歌う
～愛、夜、憧れ～

＜演奏曲目＞ ミューズの子/
ガニューメード/小人/さすらい人/秋の月夜によせて/鳩の便り

＜出演者のひと言＞ シューベルトの歌曲は喜怒哀楽の本質をとらえ、美しさだけではなく、不遇な運命や深い嫉妬、孤独な人間の感情をも音楽に現しています。「愛」「夜」「憧れ」をテーマにシューベルトの純粋な感情に迫りたいと思います。◎ラファエル・ファーヴル(テノール。スイスのラ・ショニエド・フォン出身。国際コンクール「シューベルトと現代音楽」「リート国際コンクール」で第3位。ラインガウ音楽フェスティバル(独)、



加藤哲子 ラファエル・ファーヴル

キッシーの夏(独)、黒の湖音楽祭(仏)に招聘)◎加藤哲子(ピアノ。神戸市出身。大阪音楽大、アムステルダム音楽院卒業。チュリッヒ芸術大修士課程修了。1992年日本クラシック音楽コンクール全国大会特別賞、2000年北ロンドンピアノコンクール奨励賞及び伴奏賞。スイス拠点にデュオ「ファーヴル&加藤」として活動。CD「シューベルトの歌曲」リリース)

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

■ 美術館の調べ

10月1日(土)

尹 紗梨 ピアノリサイタル

＜演奏曲目＞ ショパン「ノクターンOp.48-1」/
リスト「バガニョニによる大練習曲 第3曲」
『ラ・カンパネラ』ほか

＜出演者のひと言＞ 聴いたことあるかも!というような曲から初めて出会う曲まで、世界各国の多種多様な音楽をお楽しみください。◎尹 紗梨(京都市立芸術大卒業。シュトゥットガルト音楽大大学院修士課程首席修了)アトリエにて 14:00～ 無料

＜出演者のひと言＞ 秋の一日、皆様よく存知の名曲をソロと連弾でお楽しみ下さい。◎前田多津子(ピアノ。武蔵野音楽大ピアノ科卒業。クラシック・ミュージック・アカデミー代表。神戸山手学園公開講座講師)◎古川知子(ピアノ。京都市立芸術大卒業。同大学院修了。兵庫教育大、同大学院非常勤講師。神戸山手学園公開講座講師)

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料

エントランスホールにて 14:00～ 無料



柴田さおり